

気密性従来の1.5倍  
シートシャッター

小松電機産業

小松電機産業（松江市、小松昭夫社長）は、シートシャッターの新商品を1日、発売する。食品や精密器など製造時の防じんなどに効果を発揮するという。国内のほか、工場建設ラッシュの中国や韓国などでも販売、初年度は1000台、20億円の売り上げを見込む。

従来品のシート部に入っていたパイプをなくし、全面シート化。軽量化され、シャッターの上昇速度は毎秒3メートルと業界最速に。開放時間短縮に伴って外気の進

入を最小限に抑え、気密性も従来製品の約1.5倍にアップ、防虫・防じん効果を高めた。フレーム内蔵のセンサーで、シャッター下降中に人や物に当たると、一時停止し反転上昇する。シートに強く接触した場合、シートがフレームから外れて破損を防止し、衝撃を最小限に抑えてい

る。

価格は幅、高さともに3メートルの標準型で約90万円（施工費別）。小松社長は「開発に5年かけた自信作。将来的には国内で年間2万台の販売を目指す」と話していた。